

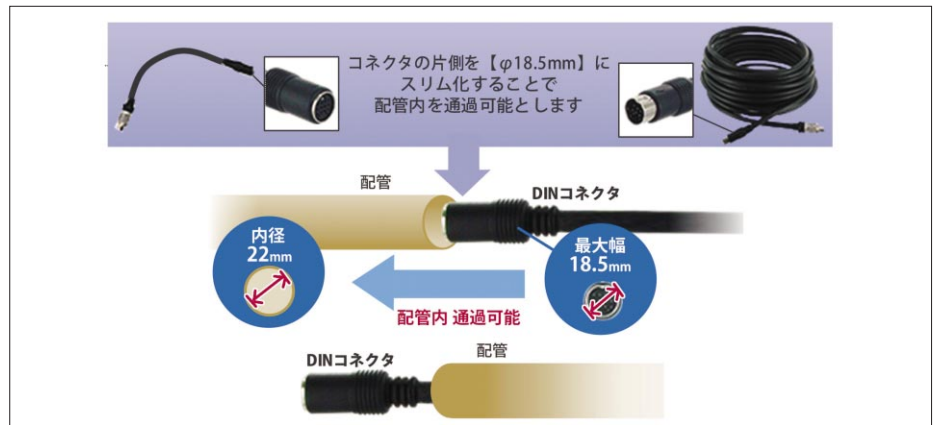
デジタルサイネージTREND EYES

実用性が高く施工を容易にする ハイパーツールのアクセサリ品

近年、デジタルサイネージ機器の設置環境は多様化しており、それに対応するためにデータ伝送装置、長距離伝送ケーブル、変換コネクタや金具などのアクセサリも多様化する必要に迫られている。IT機器専門商社のハイパーツールズ(株)は、この点に特化した製品ラインナップを充実させ、SIや施工業者との取引を拡大させている。

AV信号延長分配装置

同社の引き合いの多い機器のひとつに「AV信号延長分配装置」がある。通常、パソコン・DVD/Blu-rayプレーヤー等のデータ出力装置と、ディスプレイ・TV・プロジェクタ・電子POP等の表示装置を接続する場合、標準的なケーブルが使われる。だが設置環境の条件として、延長距離が数十～数百メートル、異なる場所に数十台～数百台の表示、極力スリムな配線をしたい、などの条件によっては、標準品では対応できな



「配管用分離型HDMI/DVIケーブル」

いことも多い。

そのような場合でも「AV信号延長分配装置」なら、PCなどから出力されたアナログRGB (VGA) 信号を送信機により変調しCAT5 (LAN) ケーブルによりデータを転送、受信機側でCAT5よりアナログに再変調してFPDなどに表示できる。

延長距離は組み合わせにより最大900メートルに達し、商業施設などでの導入に十分な仕様である。また使われるCAT5ケーブル直径も約5mmとスリムな

ので、引き回しが容易で施工しやすいのが特徴だ。

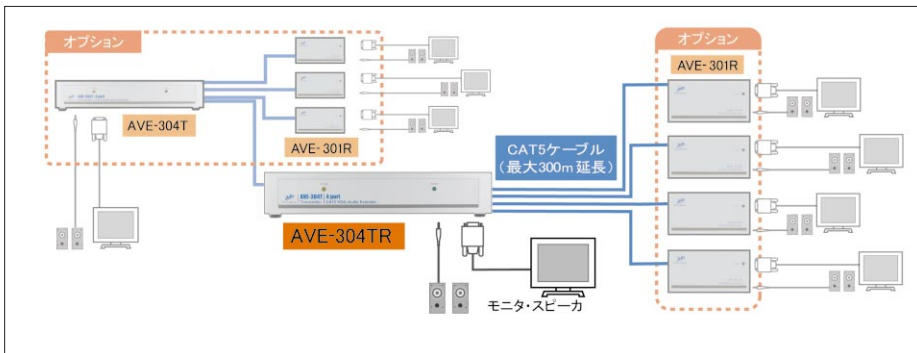
同製品の導入先は、カーディーラーのショールーム、商業ビルの各階エレベータホールおよび受付、空港内の案内表示モニタ、鉄道駅舎の構内、ホテル、ショッピングモールなど多岐にわたっている。

配管用分離型HDMI/DVIケーブル

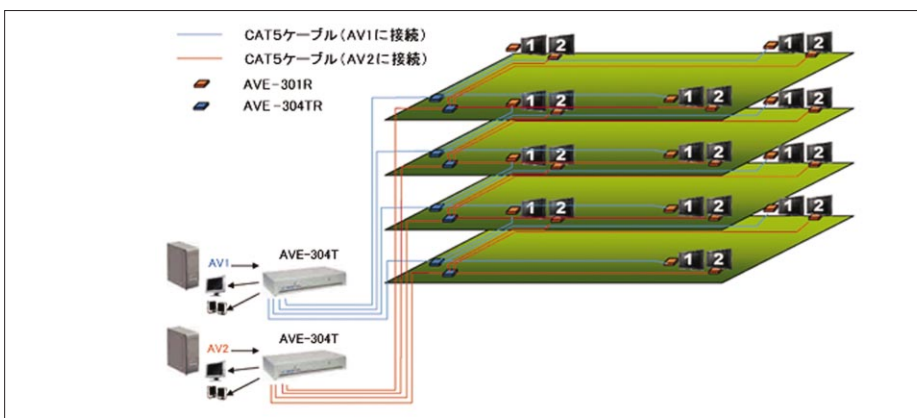
「配管用分離型HDMI/DVIケーブル」も、ユニークで実用性の高い製品だ。AV機器のデジタル化に伴い、配線に使われるケーブルもHDMI、DVIなどのデジタル仕様のニーズが増加している。

しかし、HDMI、DVIケーブルはコネクタサイズが大きく、配管内を通過できず施工上の障害となるケースもある。「配管用分離型HDMI/DVIケーブル」はコネクタの一端をDIN形状によりサイズダウンさせ、配管を容易に通過させた後にアタッチメントを装着して一体化したHDMI/DVIケーブルを完成させるもの。限られたスペースでの配管を要求される場合には重宝されるだろう。

ハイパーツールズは、今後もこの分野でのユーザーニーズを満たす製品を次々と市場に投入していく方針とのことである。



「AV信号延長分配装置 (AVEシリーズ)」基本接続図



「AV信号延長分配装置 (AVEシリーズ)」導入接続イメージ

〔問い合わせ〕

ハイパーツールズ(株)

名古屋市中区錦3-10-32

栄VTビル6F

Tel.052-201-8505

<http://www.hypertools.co.jp>